

## 翻訳資料

添付資料：2021年12月14日米上院銀行・住宅・都市問題公聴会におけるランキングメンバー パット・トゥーミー議員によるオープニング・ステートメント

(原文：<https://www.banking.senate.gov/imo/media/doc/Toomey%20Statement%202012-14-21.pdf>)

ランキングメンバー パット・トゥーミー (共和党・ペンシルバニア)  
オープニング・ステートメント

委員会本格的公聴会「ステーブルコイン：どのように機能し、どのように用いられ、どのようなリスクがあるのか」

2021年12月14日午前10時00分

---

議長、ありがとうございます。

ステーブルコインは、暗号通貨のエコシステムの中心的な要素であり、それ自体が資産のトークン化の先陣を切っています。

ステーブルコインは、決済、特に国境を越えた送金を迅速化し、送金などのコストを削減し、変更できず透明性の高い取引記録によってマネーロンダリングやテロリストの資金調達に対抗することができます。

また、ステーブルコインをプログラムして他の通貨と相互運用することで、効率化を図り、より多くのアメリカ人が金融サービスを利用できるようになります。しかし、ビットコインのような変動の激しい暗号通貨とは異なり、ステーブルコインはドルの価格が変動しません。

本日のヒアリングでは、米ドルに対して1対1の価値を維持するように設計された（つまり、1つのステーブルコインは常に1ドルに等しい）ステーブルコインに焦点を当てます。

この1年で、ステーブルコインの市場は爆発的に拡大しました。証人の一人であるダンテ・ディスパルテ氏が説明するように、ステーブルコインは中小企業の決済や国際送金に利用され始めています。従来の決済システムはコストが高く、決済に数日かかることがあります。ステーブルコインを使った送金は低コストで、ほぼ瞬時に行うことができます。

現状を打破するステーブルコインには、当然ながら既存の業界や規制当局から懐疑的な意見が寄せられています。先月、金融市場に関する大統領のワーキンググループ (PWG) は、ステーブルコインに対する連邦規制の枠組みを確立するための法案を議会で可決するよう勧告する報告書を発表しました。その報告書の中で、財務省などは、ステーブルコインに関し消費者保護や金融の安定性について懸念を表明しています。

この報告書では、ステーブルコインの潜在的な利点はほとんど強調されていませんでしたが、報告書の中で、連邦機関がステーブルコインを管轄するかどうか、またどの程度まで管轄するかを明確にする責任は、議会にあることが認められていることに、

私は勇気づけられました。私は、この分野で政権や民主党の同僚と協力することに前向きです。

しかし、議会が何をするにしても、進化するデジタル経済におけるイノベーションを阻害したり、自国の競争力を低下させたりすることのないようにしましょう。また、金融サービスの提供方法や投資の仕組みに関する私たちの見解の多くが、急速に時代遅れになっていることを認識する謙虚さを持ちましょう。

今朝、私は、ステーブルコインの法制化に向けた取り組みに影響を与えるべきだと考える一連の指導原則を発表します。

## イノベーション

これらの原則は、ステーブルコインが非常に重要なイノベーションであり、これまで存在しなかった新しい機能をお金に導入するものであると認識しています。ステーブルコインは、その使いやすさや送金にかかる手数料の低減に加えて、私たちの取引のプライバシーやセキュリティを向上させることができます。また、一連の検証可能なイベントに基づいて自動化された取引を可能にするスマートコントラクトというお金のプログラム可能性の概念も導入されています。

これらの新しい機能の可能性を認識した上で、いかなる規制も狭義に調整され、害を及ぼさないように設計されるべきです。同時に、賢明な規制基準は、償還リスクや取り付けのリスクなどの主要なリスクからの保護に役立つ可能性があります。これらの原則は、PWG の報告書とは異なるアプローチをとっています。

## ステーブルコイン発行者の選択肢

例えば、PWG レポートでは、すべてのステーブルコイン発行者は預金保険加入済みの預金取扱機関でなければならないと勧告しています。私がこの提言に同意しない理由は3つあります。

まず、ステーブルコイン発行者は、銀行とは異なるビジネスモデルを持っています。銀行と同じサービスを提供してはなりませんし、同じリスクを抱えているわけでもありません。本日の参考人の一人である Jai Massari 氏が述べているように、ステーブルコイン発行者は、銀行のように預金や融資を行うことはありません。このような重要な違いがあるため、すべてのステーブルコイン・プロバイダーに、短期調達/長期運用に対応するための銀行の規則や規制を全面的に適用することは、潜在的なリスクに適切に対応できません。

第二に、すべてのステーブルコイン発行者に銀行になることを求めることは、イノベーションを阻害します。私たちは、テクノロジー企業を含め、膨大な量のイノベーションが銀行システムの外で行われていることを知っています。銀行システムの中では、技術革新が起こりにくい厳しい規制があるため、このような開発が行われる可能性は低いでしょう。起業家がステーブルコインのようなデジタル資産でイノベーションを起こせるようにすれば、競争が促進され、消費者にとってより良い結果がもたらされるでしょう。

最後に、決済業務に対する規制は、平等な競争の場を作るべきです。PayPal、Venmo、Apple Pay のような革新的な企業は、すでに州ごとのライセンス制度や連邦政府の規制当局への登録を受けています。

ステーブルコイン・プロバイダーには、様々なビジネスモデルを認識した上で、少なくとも3つの選択肢があるべきです。それは、従来の銀行のチャーターに基づいて運営すること、法律に基づいて設計されたステーブルコイン・プロバイダーのための特別目的の銀行チャーターを遵守または取得すること、または既存の州の体制の下で送金業者として登録し、連邦レベルでは FinCEN にマネーサービス事業者として登録することです。

このような選択肢があることで、各ステーブルコイン・プロバイダーは、ビジネスモデルに最も適した規制の枠組みを利用することができます。

### すべてのステーブルコイン発行者への要求事項

どのようなチャーターやライセンスを取得するかにかかわらず、すべてのステーブルコイン発行者は、一定の最低要件を満たす必要があります。例えば、どのような資産がステーブルコインの裏付けとなっているのかを明確に開示するとともに、明確な償還方針を示し、定期的な監査を受けるべきです。

これらの要件により、消費者はどのステーブルコインを使用するかについて十分な情報を得ることができます。また、最低準備金額の設定や証明書の発行なども適切であると考えられます。

さらに、無利子のステーブルコインは必ずしも証券ではなく、自動的にそのような規制を受けるべきではないことを法律で規定する必要があります。

このフレームワークは、ステーブルコインを使用する個人のプライバシー、セキュリティ、および機密性を保護し、顧客が個人情報を第三者と共有することをオプトアウトできるようにすべきです。

最後に、銀行機密法に基づくアンチマネーロンダリングおよびその他の金融監視に関する要件は、ステーブルコイン、暗号通貨、および人工知能を含むその他の新技術の出現を考慮して、それらの対象となるすべての金融機関に対して近代化されるべきです。

ステーブルコインの出現は、現在進行中のお金の進化における最新の発展を象徴していると思います。私はこの問題に取り組む準備ができており、今後のイノベーションや競争を阻害しないような方法で取り組んでいきます。

それでは、皆様からのご意見をお待ちしております。